

# 带状疱疹ワクチン定期接種説明書

【接種期間】 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

【対象者】

令和7年度末までに65・70・75・80・85・90・95・100歳以上を迎える方



65歳	昭和35年4月2日から昭和36年4月1日生まれ	70歳	昭和30年4月2日から昭和31年4月1日生まれ
75歳	昭和25年4月2日から昭和26年4月1日生まれ	80歳	昭和20年4月2日から昭和21年4月1日生まれ
85歳	昭和15年4月2日から昭和16年4月1日生まれ	90歳	昭和10年4月2日から昭和11年4月1日生まれ
95歳	昭和5年4月2日から昭和6年4月1日生まれ	100歳以上	～昭和元年4月1日生まれ

※ 定期接種を受けられるのは接種対象年齢の1年間だけです。

例) 65歳で対象となった方は70歳になっても定期接種では接種できません。

※ 通知を受け取ったあと転出された方は、三島市の予診票は使用できません。

転出先の自治体へお問合せください。

※ 過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがある方は定期接種では接種できません。

【対象となるワクチン及び接種回数】

下記のいずれかのワクチンを接種します。どのワクチンを接種するかは医師とご相談ください。

種類	生ワクチン	組換えワクチン
接種回数	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
接種スケジュール		通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方	免疫の状態に関わらず接種可能です
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン治療を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

【ワクチンの効果】

		生ワクチン	組換えワクチン
带状疱疹に対するワクチンの効果	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点		7割程度の予防効果

※ 合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

【自己負担額】

生ワクチン： 4,800円

組換えワクチン： 12,000円（1回につき）

※生活保護受給者は無料

## 予防接種の受け方

- ① この説明書をよく読み、有効性や副反応についてよく確認したうえで、同封の予診票にボールペン等で記入してください
  - ◎接種を受けるご本人が責任をもって記入しましょう。
  - ◎ご自身で記入できない方は、健康状態をよく知っている方に記入してもらいましょう。
- ② 説明書の裏の「実施医療機関一覧」に記載されている医療機関に予約をして、下記の物を持参の上、接種を受けてください。
  - \* マイナ保険証又は資格証明書（保険証）
  - \* 予診票・接種済証
  - \* 自己負担金（生活保護受給者の方は「生活保護休日・夜間等受診証」など）
- ③ 接種後、医療機関から「接種済証」を受け取り、大切に保管してください。
  - \* 組換えワクチンの2回目を受ける場合は必ず接種済証をご提示ください。



## ご注意ください

### ☆生ワクチンを選択された場合

- \* 接種は1回のみです。生ワクチン組換えワクチン1回目の予診票を使用してください。（組換えワクチン2回目は使用できません。医療機関で回収します）

### ☆組換えワクチンを選択された場合

- \* 1回目の接種から2か月以上（～6か月までに）空けて2回目を接種してください。
- \* 2回目の接種はR8年3月31日までに必ず終了してください。

## こんな症状がある方は

### ☆予防接種を受けることができない方

- \* 明らかに発熱のある方、一般的に体温が37.5度を超える場合
- \* 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- \* 上記の他、医師が不適當な状態と判断した場合

### ☆予防接種を受けるに際し、担当医とよく相談しなくてはならない方

- \* 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液その他慢性の病気で治療を受けている方
- \* 過去に予防接種を受けたとき、アレルギーと思われる異常があった方
- \* 今までにけいれんを起こしたことがある方
- \* 免疫不全と診断されている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方

## 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- \* 予防接種を受けた後の30分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師とすぐに連絡をとれるようにしてください。
- \* 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないでください。
- \* 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

## 带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

## 副反応について

主な副反応の発現割合	生ワクチン	組換えワクチン
70%以上		注射部位の疼痛
30%以上	注射部位の発赤	注射部位の発赤、筋肉痛、疲労
10%以上	注射部位の掻痒感、熱感、腫脹、疼痛、硬結	注射部位の腫れ、胃腸症状、悪寒、発熱
1%以上	発疹、倦怠感	痒み、倦怠感、全身疼痛

ワクチンを接種後に上記のような副反応がみられることがあります。また、頻度が不明ですが生ワクチンではアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンではショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

## 予防接種健康被害救済制度について

ワクチン接種後、まれに健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。国に健康被害と認定された場合、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)を受けることができます。

○救済制度の相談、お問い合わせは

健康づくり課:電話 055-973-3700(午前8時30分~午後5時15分・平日のみ)

## 予診票をなくした場合

予診票や接種済証を紛失した場合は再発行が必要です。再発行は、保健センター窓口のみで行います。(ご本人が来所できない場合は、代理の方でも大丈夫です。)

お電話での再発行はできませんのでご注意ください。

## 医療機関一覧にない医療機関で接種する場合

接種する前に必ず健康づくり課(055-973-3700)へお問い合わせください。

※事前の手続きが必要となります。手続きなしで接種した場合、全額自費になる場合がありますのでご注意ください。



問い合わせ 健康づくり課 055-973-3700

**予防接種は、ご本人の同意により実施します。  
接種を強制するものではありません。**

